

朗読劇 家族草子札幌組公演 2019

第一部 月の庭 第二部 荷物の順番

ときに切なく、ときにあたたかい、森浩美が描く家族のストーリー。

『家族草子』とは、その短編小説をリーディングのような芝居のような独自のスタイルで伝える舞台です。

札幌の役者たちが家族草子専属演出の保倉大朔を迎えて、心ほぐれる2作品をお届けします。

第一部 「月の庭」森浩美短編小説『終の日までの』（双葉社）より

第二部 「荷物の順番」森浩美短編小説『こちらの事情』（双葉社）より

※一部と二部の間に10分の休憩が入り1時間40分の子定

CAST

すがの公（札幌ハムプロジェクト） 高野吟子（劇団新劇場／吟ムツの会） 原子千穂子（札幌座）

甲斐大輔（劇団かい） 長流さん平（3ペェ団 新☆さっぽろ） 太田有香（劇団ひまわり／なちゅら）

中井亮一 上野鈴夏 大橋千絵

原作・脚本／森 浩美〈作詞家・作家〉



田原俊彦「抱きしめて Tonight」、森川由加里「SHOW ME」、SMAP「青いイナズマ」「SHAKE」「ダイナマイト」、Kinki kids「愛されるより愛したい」、ブラックビスケッツ「タイミング」等、作品総数約700曲。また、家族を題材とした「家族の言い訳」「こちらの事情」「夏を拾いに」等のロングセラー小説多数。近著に「ひとごと」「家族連写」「終の日までの」。

演出／保倉大朔



舞台芸術学院卒業後フリーで活動をスタート。2005年、自身のユニット「uncle jam」を旗揚げ。家族草子にはvol.0から参加、vol.6より専属演出家となり、観客の「想像力」と一緒に作品を作っていく『朗読』でもなく『演劇』でもない『家族草子』を毎回模索している。

STAFF

〈舞台監督〉 渡部淳一 〈音響〉 河野武史（河野音響） 〈照明〉 青木美由紀 〈宣伝美術〉 相馬デザイン
〈制作協力〉 波多野ゆかり 大森佐知子 柳田衣美（オモア）

チケット料金／ご予約・お問い合わせ

〈一般〉前売 2,500円 当日 3,000円

〈学生〉前売 2,000円 当日 2,500円

家族草子札幌組公演実行委員会

〈電話〉 090-7649-9555 〈E-mail〉 sapporogumi@yahoo.co.jp

お名前、電話番号、公演日、枚数を電話またはE-mailでご連絡ください。

こちらからの返信をもちましてご予約完了となります。